

第11回埼玉県ディスコン・オープン大会の結果報告

開催日時：平成30年11月3日（土・祝）10:00～16:00

開催場所：上尾スポーツ総合センター アリーナ

参加チーム：28チーム（1チーム3名編成）

参加人数：競技者83名、スタッフ10名、合計93名

競技方法：コート7面（5m×10m）を使用し、1チーム合計6試合を行いました。

1試合13分間の時間制で7点先取。試合結果は勝点制で勝ち3点、引分けは1点、負けは0点とし、6試合合計で勝点と同じ場合は得点の多い順、勝点・得点も同じ場合は失点の少ない順で順位を決定します。

大会趣旨：①日頃の練習の成果を発揮する場として、またディスコン愛好者同士の交流の場として、1年に1回ディスコン仲間が一堂に会して順位を競います。

②この大会は第31回埼玉県民総合体育大会の一部として位置づけられ、埼玉県知事の表彰状が県から交付されました。また、埼玉県レクリエーション協会から補助金交付も受けました。

③オープン大会として埼玉県外からも参加を募りました。

参加チーム：今回の大会は、さいたま支部8チーム、横瀬支部5チーム、長瀬支部4チーム、川口支部3チーム、所沢支部2チームに加え、坂戸市から1チーム、以上県内チームは合計23チーム。県外から5チーム（東京から練馬2チーム、世田谷1チーム、宮城県1チーム、関西1チーム）合計28チームが参加し、開会式で各チームが紹介されました。

大会概要：開会式は松本事務局長の司会により、塩野谷副会長の開会宣言で始まり、山田会長から上記の大会趣旨が説明され、大会役員と参加チームの紹介がありました。

前回優勝のさいたま支部Sチームから優勝杯が返還され、さいたま支部鷹巣光子選手から力強い選手宣誓がありました。

磯副会長から競技方法について、今大会は全日本ディスコンディスコン交流協議会（普及啓発ブック）のルールを採用し、キャプテンは本大会中他の



人と交代できないことや、主審はインストラクターのみが行う等の説明があり、準備体操の後、各コートに分かれて練習を行い競技に入りました。

午前中に4試合、昼食休憩を挟んで午後には8試合を行いました。試合結果は都度スクリーンに表示され、各チームは自チームの位置を確認しながら試合に臨みました。

各コートで熱戦が繰り広げられ、ナイス投球やファインプレーに対して歓声と拍手が起こり、チーム同士や地域間の交流も大いに深められました。

上位入賞：優勝 さいたま支部 S チーム（6戦全勝、勝点18点）



優勝したさいたま支部 S チーム（選手：中川、池沢、鷹巣）は、昨年につき2連覇を遂げ、優勝カップ・個人別賞状・賞品が授与されました。

準優勝 横瀬支部 A チーム（5戦1敗、勝点15点）



チーム賞状と賞品授与（選手：宮下、島田、野口）

第3位 さいたま支部 A チーム（4勝1敗1引き分け、勝点13点）



チーム賞状と賞品授与（選手：榎田、石田、森山）

賞品授与：上位3チームの他に10位、20位の飛び賞とブービー賞が授与されました。
また、本大会の共催団体NPO法人ときめきライフ埼玉から、初参加の宮城県チームに対して特別賞も授与されました。

閉会宣言：審判長を務めた町田副会長から講評の後、塩野谷副会長から来年の大会での再会を約束して閉会が宣言されました。

下の写真は、開会式後の集合写真です。



なお、大会前夜には上尾駅近くの居酒屋「花藤」で懇親会が開催され、ディスコン談義に花が咲きました。（出席者は、関西3名、宮城県2名、地元埼玉5名の合計10名）

（山田記）